

事後評価報告書

令和6年2月8日(木)

研究種別	県単(一般分)	
研究課題名	アユの小型早期放流の実証試験	
研究期間	令和4年度 ~ 令和5年度	
	評価項目	評価点
1	研究目標の達成度	3.7
[評価所見]		
<p>小型早期放流と新規の種苗開発により、成長が早くコスト面でも有利なアユ資源を作り出すことが可能となった。複数の種苗を補完的に活用し、かつ放流時期と放流尾数を調整することで、釣獲数の安定的な維持が達成することが可能であり、今後のアユ漁業の振興に大いに期待できる成果と言える。</p> <p>河川環境の悪化など、アユを取り巻く環境が大きく変動している中で、冷水病フリー種苗の小型早期放流による効果を実証されたことは、アユ漁業の復活と地域振興に資する成果として評価できる。</p> <p>冷水病フリー種苗を適切な場所へ早期放流することで、解禁日の釣果が良く、放流コストも低くなることを実証するとともに、新たに作出した系統については、従来の系統を組み合わせることで漁期を通じて好釣果が期待できる。これらはアユ漁業の振興に資する成果として評価できる。</p>		